



白樺は空に向かって立つ





湧雲

第15号
2024年3月1日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
17,664名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 <https://salat.co.jp>

令和5年度総会 事業報告

第80回同窓会総会が6月13日に開催された。嚮田会長の挨拶に引き続き新任の福田雅人校長から学校の現状や取り組みをお話いただき挨拶をしていただきました。松原さんを議長に選出し、第80回同窓会総会の事業報告は左記のとおり報告された。決算報告、監査報告に引き続き事業計画。例年通りの事業内容だが、今年のおきの名簿の発行が2023年なので作業進行を報告。滞りなく終了。即、散会となる。

令和4年度事業報告

自・令和4年4月1日
至・令和5年3月31日

1、会議・行事に関する事項
令和4年(2022年)
4月8日 第77回入学式
入学生91名

5月11日 役員会

6月1日 第79回定時総会

ラ・カンパニーホテル深川
令和5年(2023年)

2月28日 同窓会入会式

入会者89名

(嚮田会長・三上幹事長出席)

3月1日 第75回卒業式

卒業生89名

(嚮田会長・三上幹事長出席)

令和4年 4/7/12/28
2/21/22/25
計6回

令和5年 4/5/12/19/26
2/2/9/16/23
計6回

2、会報の編集・名簿の作成事業
同窓会会報「湧雲」
令和5年3月1日発行 第14号
印刷サラト
(協賛者と卒業者と4年毎の会員のみに送付)
令和5年度版 会員名簿発行
令和5年8月完成発送

(嚮田会長・三上幹事長出席)
※報告：4月13日 会計監査済み

3、母校の後援に関する事業
①第二次10年計画による前庭の植栽の点検
②各部で活躍する在校生への支援
体育系・文化系 全国・全道大会へ出場する生徒への支援
「激励会」
③10/8 第14回卒業記念植樹
「ドロノキ」 生徒6名

4、会旗、部旗、健闘幕作成貸与
4、会員相互の親睦、交流に関する事業
①同窓の集い
末尾「3」期間催可能か
②各支部現況報告
(同窓会会報にて報告)
③各期の動き
(同窓会会報にて報告)

5、「緑の学舎運営委員会」《令和4年度・事業報告》別項にて5年度分掲載

6、その他、本会の目的達成のため必要な事業
①同窓の部屋の収蔵品の収集継続
②記念誌・名簿・CDの在庫状況
③写真パネル：現有 90枚余所蔵、管理保管は学校

2022年一般会計報告

収入の部

項目	一般会計
前期繰越金	63,047
入会金	133,500
振替金	200,000
会報コンビニ	497,960
会報郵便局分	320,624
利息	0
合計	1,215,131

支出の部

項目	一般会計
総会費	86,800
役員会議費	46,904
支援激励費	115,000
事業費	6,660
校歌CD	0
会報費	878,383
通信費	6,765
印刷費	1,352
事務用品費	110
雑費	1,650
予備費	0
次期繰越金	71,507
合計	1,215,131



「学園の杜」

令和5年4月に厚岸翔洋高校から人事異動で当校に着任された福田雅人校長が7月21日発行深西校報191号に掲載したご挨拶を転載いたします。



深川西高等学校
校長

福田 雅人

『学園の杜』この言葉は、本校の周年記念誌の中にたびたび登場する。

言わずと知れた本校校庭に植栽された樹木群のことである。私は教職に就いて道内さまざまな地域を巡り本校が十校目の勤務校だが、これほど手入れされ立派な樹木を有する美しい校庭を持つ学校をほかに知らない。

『学園の杜』すべては、本校初代校長 古野俊清氏の学校づくりの構想から始まる。「立派な校舎が裸の状態では、学習の場として生徒の心は安まらない。」「校庭を四季折々に色濃く彩る木々は、今後とも生徒の健やかな成長を見守り続けてくれるものと心強く思う」古野校長が抱いた理想と情熱は、北空知地区住民のみならず、生徒、教職員、保護者、地域住民が一体となった樹木の運搬・植栽作業となって実を結ぶ。本校創立から五年間で四千五百本もの樹木が学校内に植えられ、小さな森を思わせるほ

どの立派な校庭が創り出された。

フランス人作家による『木を植えた男』という短編小説がある。舞台は南フランスの山深い地域。見渡す限り水もない荒野と、屋根が吹き飛び風雨にさらされたままの家々や鐘楼の崩れ落ちた教会など、見るも無惨な廃墟ばかり。この土地で暮らす一人の羊飼いの男。家族を失い孤独の世界に閉じこもった男が、人知れず来る日も来る日も黙々と荒野にどんぐりや木の苗を植え続ける。その後、三十年以上の長い歳月を経て、この土地に豊かで美しい森が、小川のせせらぎが、新しく美しい家々が再生される。未来にかける夢もなく、ただ死を迎えるためだけに生きる人々が暮らす不毛の土地が、夢と希望にあふれた幸せとくつろぎの土地へと変わる。

『学園の杜』古野校長が抱いた理想と情熱は、本校同窓生のみならず受け継がれ、同窓生のみならず献身的な樹木の植栽・維持管理作業により、かくも立派で美しい校庭がいまなお守り続けられている。創立以来、本校に関わる多くのの方々からの「健やかで充実した高校生活を送ってほしい」という深西生への思いが込められた空間が『学園の杜』なのである。この人々の思いが詰まった『学園の杜』が本校の校風を育んだことは間違いない。

私もこの思いに連なる一人として、『学園の杜』を愛し、『学園の杜』が育んだ深川西高校に誇りを持ち、生徒や職員、そして保護者や地域のみならずともに、生徒が夢や希望を育み充実した生活を送ることができ学校づくりに取り組んでいきたい。

第14回卒業記念植樹報告

2023/10/8

卒業記念植樹と秋作業

校長…福田雅人
教頭…熊谷孝宏
教諭…池田和彦
1組…鶴岡恋花 古屋峻真
2組…上川紗知 山崎凌矢
3組…吉田 颯

委員会参加者…響田会長・堀川・岡部・坪田・村中・東・山田・南・石川(雅)・溝口



前日(7日)に雨裂からの復旧及び整地作業を行ってくれた山道は雲一つない真つ青な空の下で気持ちよく車を走らせることができた。本当に素晴らしい植樹日和となった。

6日の早朝に熊が箱罾にかかって捕獲、駆除されたとの情報をもたらしたので何の問題もなく開催できる。秋の作業を取り奨めていたが中断し、卒業記念植樹の準備に取り掛かる。生徒は11時30分に到着。先生を含めて10名。今回から事前にしおりを渡してあるのでアウンスはなし。早々に食事をしてもらう。過去には寒い中での食事の時もあったが今回は暖かく色づいた景色を眺めながら石碑の前の広場で気持ちよく食事を終えることができた。

食事後歩いて植樹予定地まで下がる。みんな楽しそうだ。良かったあ。掻き起し作業後の会場は笹も除かれて平野部の眺めも最高。10年前のドロノキの捕植のスペースを残してあるのでほぼ中央部での植樹となった。響田会長、堀川委員長の挨拶後に植樹にかかる。挿し木で用意した苗木はきちんと根回しができなかつたので袋の底を抜いて埋め戻すことにした。生徒は土をかぶせるだけであったという間に終了。記念撮影をして記念植樹は終了。

恒例の展望台登頂は秋沢さんに任せて残りの作業に時間を費やす。作業終了に合わせる様に生徒たちも下山してきたのでお礼を兼ねてお見送りをする。来年もこんな天気なら最高だ！



学校行事

体験入学

9月27日（水）に体験入学が行われました。今年度は近隣の中学生・保護者・引率教員など合わせて119名が参加してくれました。行事や学習・進路の説明はもとより、まずは現場を知ってもらうということで授業見学・部活動見学などが行なわれました。特に在校生が参加しての座談会では「先輩からの話が分かりやすかった」「進学後のイメージができた」などの声が出ていました。

同時に保護者・教員対象の学校状況説明も行いました。この体験入学が進路選択の参考になることを祈るばかりです。



体育祭

8月22日火曜日に体育祭を実施しました。猛暑となりましたが熱中症に十分注意しながら、7種目の競技に汗を流しました。クラス対抗リレーや五色綱引きなど大きな声援やかけ声が響き、クラスの

団結が一層強まった体育祭となりました。



カタリ場

先輩の大学生がアドバイス

2年生が、大学生の経験談などを聞きながら、自分自身と向き合い進路選択に役立ててもらおう教育プログラム「カタリ場」が11月6日に行われた。

「カタリ場」は、首都圏の大学生が中心となつて2001年にスタート。大学生を中心としたスタッフが高校生の本音を聞き出し、将来について具体的に考えてもらうプログラムだ。大学生を中心にしたスタッフが、主に高校生の進路や高校生活の悩み相談を受け、これからの生き方を考えるプログラムである。当校では深川市からの助成金で開催され、今年度で11年目となる。

北海道では、札幌市のNPO法人「いきたす」（江口彰代表理事）が各地の中・高校で開催している。

札幌圏内の大学生など約30人が来校。2年生87人は4、5人の小さなグループを作り、スタッフの大学生と座談会形式で交流した後、大学生の体験談に耳を傾けた。



深川小・音江小・深西 音楽交流

1月19日に、深西の3年生の「総合音楽」選択者20名が深川小学校



を訪問し、授業交流を行いました。授業を通して高校生と小学生が交流し、「子どもたちが将来、進路を選ぶ際の一助になれば」と企画された「小高連携事業」は昨年、深川西高音楽室での授業の様子を両小学校にライブ配信する形で実施。

今年は、深川小学校の1・2・6年生と、音江小の2年生に深西の生徒が楽器の紹介をはじめとしてハンドベルの演奏で幕開け。リコーダーによる「宇宙戦艦ヤマト」の演奏やピアノの連弾を披露しました。最後には、ギターやウクレレ、ピアノ、サックスによるBGMで絵本「猫のプッシュ」を朗読し、子どもたちの感動を呼びました。

対面式・部局紹介

新入生との対面式、部局紹介を4月11日（火）に開催しました。対面式では先生の紹介・行事の紹介・全校生徒が参加する学校に関する三択クイズなどを行いました。いよいよ3年間が始まります。

部局紹介では各部が入部の勧誘に趣向を凝らした発表や実演を行いました。入部先を決めた生徒は18日には部活動結成会があり、

さっそく部活動が動き出しました。これからの活躍を期待します。



▲対面式



◀部局紹介

令和4年度卒業生進路動向

進路		男子	女子	合計	前年度
進学	国公立大学	2	0	2	5
	私立大学	10	8	18	13
	短期大学	1	11	12	18
	専門学校	13	15	28	25
	高等看護学院	4	6	10	7
就職	准看護学校	0	1	1	2
	公務員	6	0	6	3
	民間企業	6	3	9	10
	自営・家業従事	1	2	3	0
その他・未定		0	0	0	1
合計		43	46	89	84

新入学児童数 2023年4月時点		人口推計		
		2020年	2050年	減少率
深川小学校	25	20,039	9,878	51%
一巳小学校	54			
北新小学校	7			
納内小学校	7			
音江小学校	13			
多度志小学校	2	2,909	1,421	51%
沼田小学校	15			
秩父別小学校	12			
真龍小学校	13	1,724	778	55%
妹背牛小学校	12	2,693	988	63%
雨竜小学校	10	2,389	990	59%
幌加内小学校	8	1,370	596	56%
朱鞠内小学校	1			
合計	179			

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所から12月22日に地域別将来推計人口が発表されました。他地区は別として北空知関係町村の推移を見てみると人口は半減。完全に地域崩壊となります。学校どころか経済も文化も介護も医療も何もかも成り立たない状況が想像されます。日本の人口自体が減少するのでどこも同じ問題を抱えることになりすが手をこまねているわけにはいきません。ここは政治の力の出しどころですが中央もあてにはなりそうもありません。ならば、キラリと光る地域を創出して減少に負けない地域づくりをしながら減少率を抑えなければなりません。

小学校や中学校、高校生や大学生も巻き込んで大人も真剣に考えていかなければいけない問題です。西高校は令和5年度は1年2クラス、2年3クラス、3年2クラスの全校生徒数234名です。令和6年度も何とか3クラスの募集枠を確保しましたが達成できるかどうか微妙なところです。

今年度の小学校の入学児童数を掲載しました。少子化極まりないところでしょうか。高校を目指す12年後はどんな振り分けになっているのでしょうか。

同窓会名簿発行年

1948	S	23	校友会誌十周年記念誌 謄写版・別添		
1958	S	33	S43年名簿発行記事の中に発行したと記述がある 現物は見たことがない		
1968	S	43	9 江口正文堂	A 5	114P
1978	S	53	9 松本印刷	B 5	219P
1989	H	元	3 松本印刷	B 5	
1998	H	10	9 N T T北海道テレマート・松本印刷	B 5	482P
2008	H	20	8 (株)サラト	B 5	384P
2013	H	25	8 (株)サラト	B 5	392P
2018	R	元	8 (株)サラト	B 5	335P
2023	R	5	8 (株)サラト	A 4	192P

同窓会の事業の一つである同窓会名簿の発行は同窓生同士の絆を深める事や周年記念のご案内の発送等のためにも昔は10年ごとに発行していました。同窓生の皆さんのご理解を戴きながら住所の把握を風化させないためにも今は5年ごとに発行しています。同窓会報の発行も住所の把握のためには必要な事業でした。古い名簿は必要ないのでですが発行された年度を記載しておきたいと思えます。今回からA4サイズになりました。

名簿発行

母校支援事業

◎ 大会出場激励会



2023年5月1日



2023年6月7日



2023年7月3日



2023年8月25日



2023年11月8日

第66回 コーラス 大会

それぞれの色を見せよう

学芸委員長 竹内 優太

深西の生徒会三大行事であるコーラス大会がいよいよ始まります！今年度からはH Rコーラスに課題曲が追加された発表となります。課題曲発表では、同じ曲を全クラスが歌うのでクラスの特徴が分かる合唱になります。それぞれのクラスが自分たちの最善を尽くしてほしいと思います。表彰ではH Rコーラス以外にも指揮者賞、伴奏者賞もありますので、指揮者や伴奏者の皆さんも持てる力を最大限に発揮してください！

今年度からは、新型コロナウイルス感染防止対策が緩和され、保護者の観覧ができるようになりました。生徒だけではなく、保護者にも楽しんでいただけるような行事にしていきたいと考えています。

5月12日（金）、深川市文化交流ホール「み・らい」で3大行事の1つ、コーラス大会が実施されました。感染症対策でとりやめていた保護者の観覧も3年ぶりに復活。各クラスによる課題曲と自由曲の他、全校生徒で気持ちを1つにして歌う全校合唱があり、どのクラスも練習の成果が感じられる心のこもった素晴らしい歌声でした。

毎号ご紹介しているように今号もパンフレットの挨拶を掲載させていただきます。

『明日へ』 いまを精一杯生きる

校長 福田 雅人

校舎から見えるイルムの嶺に残る雪もあとわずかとなりました。長く厳しい冬が終わり北空知の野に新緑が日増しに色を深めるこの季節は、本校伝統の「コーラス大会」の季節でもあります。本校にとっては、校舎に響く生徒達の美しい歌声とともに本格的な春が訪れると言えるでしょう。

昭和31年（1956年）に「コーラスコンクール」の名称で始まった本大会は、令和2年（2020年）の新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止を除いて毎年開催され、今年で66回目を迎えます。脈々と続いてきた本大会の歴史を鑑みれば、クラスで、また全校で心をついにハーモニーを奏でることの意義を強く思わざるを得ません。

今年の課題曲『明日へ』の歌詞には、未来への不安を抱えながらも、まだ見ぬ明日へ希望を持って歩んでいこうとする若者の力強い意思が表現されています。

「いまを走るばかりがいる たとえどんな時でも 燃える想い忘れないよ」

クラスメートや仲間とともに、高校時代といういまを精一杯生きる。その想いを歌に込めて、クラス全員で、また深川西高全員で、心をついに熱い歌声を響かせてください。



ソプラノ歌手・小橋麻美さんが「ふるさとコンサート」

10月14日、深川市文化交流ホール「み・らい」で同窓生のソプラノ歌手・小橋麻美さん（43期）が「ふるさとコンサート」（卒業生主体の実行委員主催）を開いた。市内外から約350人が訪れ、小橋さんの美しい歌声に大きな拍手を送った。

深川西高を卒業後、武蔵野音大、同大学院

を経て、日本演奏家連盟推薦新人オーディションに合格。札幌交響楽団と共演したほか、深川ロータリークラブの推薦でロータリー財団国際親善奨学生としてイタリアのトレノ音楽院に留学し、同国内でオペラやコンサート活動を行って研さんに励んだ。帰国後は、北海道と長野を拠点にリサイタルやさまざまな音楽家との共演を行なう傍ら、ヴォイストレーナーとしても活躍の場を広げている。

2016年以来となる地元でのコンサートは3部構成で、小橋さんは、澤田一枝さんのピアノ伴奏を得て、シューベルトの「アヴェ・マリア」や、プッチーニの「ある晴れた日に」などを披露。小橋さんの夫でテノール歌手の小嶋彰さんも美声を響かせた。

「北空知新聞社提供」



プッチーニの「マリア」を熱唱する小橋さん

同窓の夕べ盛大に開催

同窓の夕べ開催される。

2019年の末尾「2」期で開催して以来、コロナ禍で途絶えていた同窓の夕べを漸く開催することが出来た。末尾「3」期の実行委員会は雌伏4年、満を持しての開催となった、と言いたいところでしたが諸物価の値上がりや従来開催内容の見直しなどで大変なご苦労を解決しての開催でした。9月16日、4年ぶりの開催は参加者170名。和気藹々の中で楽しいひと時を過ごしました。



受付風景



司会・恒本さん



福田校長挨拶



樽田会長挨拶



広上実行委員長挨拶



吹奏楽



大西前会長



溝口副会長手締め

同期会開催報告

残念ですが今号でも同期会開催報告はお休みします。多少、開催の動向が掲載できるような社会情勢になり始めた様に思います。お知らせできないうちに終刊となってしまって残念ですがお許しく下さい。今年は間違いなく楽しい同期会があちこちで開催されることを願っています。



抽選会

会場風景



各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

コロナ禍に見舞われて四年間も情報も更新できていません。どの期も開催した情報は入ってきません。まことに申し訳ありませんが引き続き前号の一部を修正して再掲となりましたことをお許しください。同窓会報の一番重要な部分がこの欄でした。機能を果たせないまま終わりで誠に残念です。

【旧中一期】

先輩も九十八歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

【旧中二期】(旧制深中2期会)

ご存命であれば九十七歳ですが連絡が取れません。平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとして以後二、三年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もない状況です。

【旧中三期】(旧制深中3期同期会)

九十六歳ですね。連絡の取れそうなお元気な方もいますが・・・。
平成七年卒業五十周年を期して「俺の足音」(B5判128ページ)の記念誌を発刊。十七年には卒業六十周年記念誌「俺の一言」(B5判93ページ)を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。

【旧中四期】(旧制深中4期生)

九十五歳。平成十五年と二十年。故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後とか。

【旧中五期】(旧制深中5期会)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年

年六月「喜寿を祝う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。以後高齢の為残念ですが集まりはありません。

【旧五期】

不定期開催。最近開催なし
(南 進)

【旧六期】(西高29会)

代表・永野慶昭
八十八歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行っていましたが総意を得て解散いたしました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっていたがどうなっているのでしょうか。全体での開催は十七年での札幌が最後となりました。
(永野慶昭)

【旧七期】(深西7期同期会)

代表・手島 克
三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十人参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。令和元年五月十二日最後の同期会を札幌にて開催三十四名。元氣だと思っていたがやはり歳です。八十七歳ともなると今後は各地で随時ミニ同期会を開催するのやとと。
(手島 克)

【旧八期】

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。二十一年八月深川在住者。令和元年九月には札幌で開催した。
(清水義弘)

【旧九期】

代表世話人・仲野勝介

月三十日、秩父別ゆう&ゆで開催。七月に同期会の打合せ会を開催。
(佐藤豊秀)

【旧十四期】

十六年五月還暦同期会を開催。深川ホテル
二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を二十八年五月、九月に開催。首都圏同期会を二十八年十月に開催。
(堀川勝之)

【旧十五期】(深西38会)

代表・杉山一成
札幌・吉田 裕 檜山秀紀
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十一年なので、開催予定。札幌三十八会は偶数月第四土曜日に定例懇親会を恩師田中先生を囲み継続開催をしています。
(菅原明義)

【旧十六期】(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟
五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。
二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。コロナ禍の為開催できず。
(星野 孟)

【旧十七期】(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別にて一泊ゴルフで親交を深めていた。
(濱田靖夫)

になるので深川で開催予定も延期につぐ延期となつてしまつて現在に至っている。
(梶川 寛)

【旧三期】

代表・広上和好
十二年卒業三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。(松原和男)

【旧三期】

代表世話人・坪田邦光
七十歳に突入。十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。
二十四年六月三十日板倉にて卒業四十周年を記念して開催。三十年十月二十日に開校八十周年で校庭にアオダモを植樹した。
(轡田光章)

【旧四期】

代表世話人・大平由美子
十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催している。札幌で三十年の令和元年十一月十六日ミニ同期会開催。四十一名。以後、コロナの為開催していない。
(大平由美子)

【旧五期】

十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月還暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。市内在住の同期会は開催していません。
(矢野正樹)

【旧六期】(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純
十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九年度まで高瀬昌之、三十、三十一年度は松野正明が担当。
(松野正明)

【旧三期】(元気でやってくる会)

代表・紺野浩治
早くも還暦か。二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。四年に一度の開催ですがコロナでできていません。
(今西真理子)

【旧四期】

卒業二十年を十四年に深川で開催。

【旧五期】

卒業十五年を十年に深川で開催。
(田中一幸)

【旧六期】(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催。九十九名参加。
卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生)掲示板を開設中です。
(渡辺哲男)

【旧七期】

十四年に板倉にて開催。(佐藤秀樹)

【旧八期】

四年に一度の開催で平成三十一年正月に深川で開催。
(西口健二)

【旧九期】

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

【旧四一期】(第41期同期会)

代表・佐藤之彦
二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。
三十一年一月二日に開催。五十八名。次回は四年後に開催予定。
(佐藤之彦)

【旧四二期】

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加。
(吉住仁陽)

【旧五期】

札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引き継ぎ札幌で集っていたが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

△二期

九十歳。平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ。以後開催なし。

△二期

（旧制中学7期・深川西高2期の集い）令和五年には九十二歳。毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもつて期友の会を打ち上げしました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催、二十名参加。（大久保 博夫）

△三期

九十一歳。東京では毎年開催していたが、連絡取れず。往時は札幌も随時開催していたが、深川は三名いたが、いずれも元気なし。平成十二年を最後に開催していない。

（大鎌幸雄）

△四期

（深川西校第4期生同期会）

九十歳に突入。札幌（北斗会）ではなんとか毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましあっています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年

八十五歳。十年深川・十二年旭川・十四年札幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。『ゆう&ゆ』に四十七名。二十三年九月四日、沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会。五月九日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六日鬼怒川温泉で二十三名参加開催。二十七年は開催しませんでした。毎年北空知・旭川方面在住者で同期会開催、一昨年、昨年に引き続き令和二年九月に予定もコロナ禍に沈む。市内の者だけでも実施したい。（倉嶋克郎）

△五期

（深川西高42会）代表・千葉憲一
五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。（千葉憲一）

△六期

（深川西高20期卒業同期会）

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加（深川ホテル）。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬期オリピック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。（小川広見）

△七期

（深川西高27期同期会）

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。令和五年七月一日に開催予定。（館下孝之）

△八期

（第28期同期会）

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。令和二年予定は延期、さらに今年度も延期。（増永博志）

△九期

（三六会・サボロウ会）

二十年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年に七十歳

△十期

（深川西高27期同期会）

十六年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年に七十歳

△十一期

（深川西高42会）

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。（千葉憲一）

△十二期

（深川西高20期卒業同期会）

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加（深川ホテル）。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬期オリピック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。（小川広見）

△十三期

（深川西高27期同期会）

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。令和五年七月一日に開催予定。（館下孝之）

△十四期

（第28期同期会）

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。令和二年予定は延期、さらに今年度も延期。（増永博志）

△十五期

（三六会・サボロウ会）

二十年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年に七十歳

△十六期

（深川西高27期同期会）

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。令和五年七月一日に開催予定。（館下孝之）

△十七期

（深川西高42会）

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。（千葉憲一）

△十八期

（深川西高20期卒業同期会）

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加（深川ホテル）。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬期オリピック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。（小川広見）

△十九期

（深川西高27期同期会）

十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。令和五年七月一日に開催予定。（館下孝之）

△二十期

（第28期同期会）

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。令和二年予定は延期、さらに今年度も延期。（増永博志）

△二十一期

（三六会・サボロウ会）

二十年八月、十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年に七十歳

鉄をも溶かす炎を燃やせ

濱野 亜里紗 さん 63 回生（平成 23 年 3 月卒業）

好きなことを大事に

元ファイターズガールの濱野さん 母校・深川西高で講演会

プロ野球・北海道日本ハムファイターズ
のオフィシャルチーム「ファイターズガール」で五年間活動し、キャプテンも務めた「ファイターズスポーツ&エンターテインメント」エンターテインメント部プロデュースグループの濱野亜里紗さん。秩父別町出身。が八日、母校で講演した。生徒約百十人が濱野さんの話に聞き入ったほか、質疑応答の場面では活発な質問が飛び交った。

同校は、「未来への道しるべ」のタイトルで、各分野で活躍する卒業生らを招いて、定期的に講演会を開いている。「高校生のときは体育教師が看護師で進路を迷ったが、安定を選び、看護師を志した」と自身の高校時代を振り返った濱野さんは、「理想と現実のギャップに苦しんだ」という看護師生活を経て、「人生は一度きりだから好きなことに挑戦したい」と、趣味であるファイターズガールのオーディションを受けた経緯をスライドを交えて語った。

オーディションは合格したものの、「ファイターズガールに大事なダンスや司会の分野で苦労した」という濱野さんは、苦手を克服するために「できないことをまず認めて、できる人に何度



母校の後輩たちの前で、自身のこれまでの人生などを語った濱野さん
写真提供・北海道新聞社 出井一彰さん

講演に耳を傾けた生徒会長の幸崎太一さんは「自分の好きなことを仕事にできるよう頑張りたい。人生は一度きりだから挑戦していきたい」。濱野さんは、後輩たちに「今頑張っていること、楽しいことをこれからも楽しんで続けていってほしい」とエールを送った。

“スランプ”乗り越え、3年連続のインターハイ出場

陸上部の多田さん

道の大会で「感謝の気持ちを記録と順位で伝えたい」

陸上部の多田悠理さん（三年）が、六月に札幌市の厚別公園競技場で開かれた第七十六回北海道陸上競技選手権大会の女子円盤投で二位（35 m 34）、同砲丸投で六位（10 m 63）に入り、八月二日から同競技場で開かれる全国高校総体（インターハイ）の出場権を得た。三年連続のインターハイ進出に、多田さんは「順位や記録には満足しないけど、三年連続で出場できることはうれしく思う」と笑みを浮かべ、「地元北海道で、家族や指導してくださった先生方と一緒に練習してきた仲間たちへの感謝の気持ちを、記録と順位で伝えられたら」と張り切る。

「上半身と下半身のバランスが悪くなっていたかもしれない」とのスランプに苦しみながら、三年連続で大舞台への切符をつかんだ。円盤投では「練習通りの投てきでできたと思う」と振り返る多田さんだが、「大会前から不安だった」という砲丸投は、昨年の大会から記録も順位も落とす結果となり、「砲丸を押し出す時の感覚が戻らなかったし、動きにキレもなかった。記録を狙い過ぎたことも力みにつながった」

「メンタルが弱いんです」と自己分析する多田さんだが、円盤投では一投目のファウルから気持ち切り替え、最終の六投目で35 m 超えの投てきを見せて、順位を二位に上げた。

指導に当たる玉井康夫教諭は「決してメンタルは弱くない。自分の課題にしっかり向き合い、コントロールしながら練習に取

り組める選手。これまで順調に伸びてきたからこそ、今回の“スランプ”は彼女にとって、いい経験になったのではないかと話す。深川小時代はバレーボール少年団に所属していた多田さんは、深川中入学と同時に深川陸上クラブ（FAC）へ入部。バレーで培った地肩の強さを生かした投てきで、中二の夏に全国切符をつかむと、高校は、「生まれ育った地元で競技を続けたかった」と、当校に進学。これまで数多くの選手を全国大会に送り込んでいる陸上部で、着実に力をつけてきた。



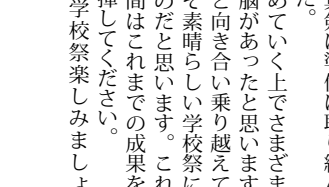
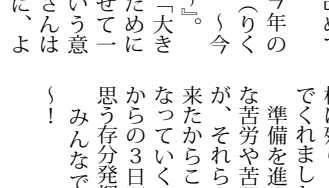
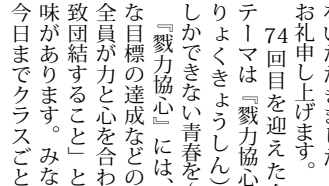
（北空知新聞社提供）

学 校 祭

7月8日・9日 第74回学校祭が開催された。感染症対策のために制約の多いものだったが、4年ぶりに保護者限定ではありませんが学校祭を公開。

1日目は開祭式で始まり応援団口上、吹奏楽に続いて映像によるクラス紹介。午後の団結力を発揮したダンスパフォーマンスを見せるクラスアピールで盛り上がり2日目の準備に入った。

2日目は校舎内を保護者に公開。各クラスが趣向を凝らした緣日で楽しみ、茶華道部・写真部・美術部の展示の合間を縫って有志発表では11グルーブが踊ったり歌ったりと今しかできない青春をこのサブテーマ通りの自己主張を繰り上げた。



行灯の出発式を終えてからいよいよ18時40分行灯行進が開始。灯された行灯が夕闇にくっきりと浮かび上がる。頃学校に到着、フィナーレを迎えた。最終、上がった開いては消えていく花火に心残りを感ずるも青春を燃やした一夜となった。

「今しかできない青春」というこの高校生活を、精一杯輝かせてください。

74回目の夏
青春といういまを
精一杯輝かせよう！

校長 福田 雅人

本校3大行事の中でも最大のイベントである学校祭がいよいよ始まりました。学校祭に向って早い時期から責任ある立場で準備を進めてくれた生徒会執行部のみなさんの努力に心から敬意と感謝を表します。また、PTA並びに地域のみなさまには様々な面でご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。

74回目を迎えた今年のテーマは『戮力協心（りよくきょうしん）』。今しかできない青春を。『戮力協心』には、「大きな目標の達成などのために全員が力と心を合わせて一致団結すること」という意味があります。みなさんは今日までクラスごとに、よ

いよいよ学校祭が始まります！今までみなさんが協力して準備してきた集大成が学校祭の舞台となります。それぞれが、自分達で決めたテーマに沿って趣向をこらした企画を工夫してきたと思います。日々頑張っている生徒のみなさんにとって今日はその成果を十分に発揮する日です。短い期間の中、どのクラスも毎日遅くまで学校に残り、真剣に準備に取り組んでくれました。

準備を進めていく上でさまざまな苦労や苦悩があったと思いますが、それらと向き合い乗り越えて来たからこそ素晴らしい学校祭になっていくのだと思います。これらの3日間はこれまでの成果を思う存分発揮してください。

みなで学校祭を楽しみましょう！

今を楽しむ

生徒会長 佐々木 星来

吹奏楽局（高田翼局長、二十一人の第19回定期演奏会（同局保護者会主催）が十月十五日、深川市文化交流ホールみらいで開いた。全道大会で演奏した曲を含め、三部構成で演奏を披露、会場を訪れた約二百五十人を楽ませました。

第一部は「全道大会で演奏した」メトセラー打楽器群と吹奏楽のための三曲、第二部の「アンサンブルステージ」では、「となりのトトロメドレー」や人気ドキュメンタリー番組「情熱大陸」のテーマ曲などを披露。また、「ポップスステージ」と銘打った第三部では、ドラマ「コンフィデンスマンJP」のメインテーマ「We Are Confidence Man」や、劇場版名探偵「コナン」の主題歌「美しい嘘（ひれ）」などを奏でた。

訪れた局員の保護者や同級生、一般市民らは、一曲ごとに大きな拍手を送っていた。

演奏の最後に顧問の米倉先生から「楽器が足りないのだから他校から借りて来てほしい状況です。楽器購入のために寄付のお願いをしたいのとお使いになってほしい楽器があります。たら提供していただけたら大変ありがたい」とのお願いがありました。もし使っていない楽器をお持ちの方は学校へ連絡をしていただければと思います。

第19回深川西高校吹奏楽局定期演奏会

活動の幅広がった1年の集大成。局員21人が息の合った音色

上げます。

さて、私ごとですが深川西高等学校に着任して3年目となりました。私が見ている限り、ここ3年間では最も充実した活動ができていたと思います。と申しますのは、昨年度のコンクール全道大会にて、緊張や場に吞まれたことにより納得のいく演奏ができなかった、という反省があり、その課題を解決するために、局員たちが自ら考え「人前で演奏する機会をなるべく増やそう」ということを一つの目標として掲げてきたためです。

3月には本校の体育館で関係者限定にはなりませんが「春だよ！全員集合コンサート」を開催しました。5月には、新人局員を含め生きがい文化センターにて「深西バブリー！！コンサート」を開催しました。その他、深川市の20歳を祝う会での演奏、神社祭りの演奏、同窓会のついででの演奏など、ソロアンサンブルコンクールや吹奏楽コンクール全道大会の練習と両立しながら依頼演奏にも意欲的に取り組んでおりました。そのおかげもあってか、今年度のコンクール全道大会では、深西のベストに近い演奏ができたと思っております。金賞を取った東日本進出という目標には届かなかったのですが、「コンサートホールKitara」という大舞台で自分たちの表現したい音楽をする」ということは実現することができました。それも局員たち自らが考え、行動した結果だと思えます。保護者をはじめとする多くの方々の支えもあり実現することができたのだと思います。本当にありがとうございます。

毎日、学習活動・部活動・家庭でのお手伝いなどと、本当に忙しい局員たちです。なにぶん知らないところや、つたない演奏の部分もあるとは思いますが、局員一同日頃の感謝の気持ちで伝わる演奏会にしたいと思っています。局員の最高の笑顔が届けられますように。どうぞお楽しみください。

局長挨拶

局長 高田 翼（3年）

本日はお忙しい中、深川西高等学校吹奏楽局の定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。現在、吹奏楽局は3年生4名、2年生12名、1年生5名の計21名で活動しています。少ない人数でありながらも、目標である東日本大会出場を目指して日々切磋琢磨していきましました。そして、今年度も引き続き全道大会へ出場することができました。結果としては銀賞だったものの、成長などが実感でき、改善点なども見つけることができ、自分たちの今後の糧になったと思います。

今年度は「挑戦」の年でした。深川西高等学校吹奏楽局としては初めての留萌音楽合宿への参加、生きがい文化センターや深川神社祭などでも演奏させていただき、地域の皆様など会場の方々へ希望や勇気を与えられるような活動をするために頑張ることができました。その経験を通してこそ、今のような充実した活動を送ることができているのだと思います。

最後になりますが、このように普段からの活動や本日このホールで定期演奏会を開催させていただけるのは、地域の方々、みらいのスタッフの方々、そして先生方や保護者の方のご協力とご支援があつてこそです。心より感謝申し上げます。

顧問挨拶

吹奏楽局顧問 米倉 幸子

本日はお忙しい中、深川西高等学校吹奏楽局の第19回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。また、今年度も多くの企業様や深川近隣の市民の方々、保護者の皆様にあたたかみのご協賛・ご寄付をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

吹奏楽局顧問 米倉 幸子

吹奏楽局顧問 米倉 幸子



育樹の現場から

■共生の木々

校庭には80年の時を経て緑豊かに木々が育っていて巣立っていく生徒を見守ってきた。この校庭の木々にもドラマがある。育つのも早いが寿命が以外にも短いのが桜や白樺。白樺は数か所切り株がある。寿命が長いはずの松やイチイも何かの障害に遭ったのか切り株が見られる。

生徒の通学路のそばにスモモの樹があつて数年前まで花が咲いていた。幹は太くて具合の良いねじれが出来ていて樹幹が空洞になっていたところに桜が育っていた。近くに桜がないので多分鳥が糞をしたのが芽生えたか。春 白っぽい大柄の桜花は存在感が出てきた。この桜は根が地面につながった。完全に自立している。共生の時期が終わってスモモの負けというか寿命かも。側の洞にはイチイが緑濃く育っている。これはどうなるかわからない。



白樺の切り株に色々と



イチイにカツラ



すももの樹に桜とイチイ

白樺の切り株にニワトコが大きく育っている。通常は庭木として植える事はないので鳥の糞による倒木上の発芽です。漢字で接骨木と書く。漢方薬として使用する様だがこれも地面に抜けている。イチイの立ち木にカツラが育っている。これは完全に共生だ。どうなるか。



切株にニワトコ



カツラにニワトコ

余談になるが桜の切り株に桜が育っていて「次世代の桜」と名付けて見守っていたが干ばつの影響

で枯死。桜の切り株もみつともないので整理、整地した。シコロに桜は既報の通りだから記載しないがこの桜の共生は大変興味深い。今後の推移を温かく見守ってやりたい。筆者の生きている間は頑張つてほしいのだが...



桜にイチイ、松

以上、じっくりと眺めると校庭には色々な物語があつて興味深い。追記すると春、草刈りを終えた校庭にデージーが伸びてきて一斉に花が開く。これは実に壮観で校庭が一面、花畑となる。(6月10日ころ)



満開のデージー

■協力者募集

緑の学び舎運営委員会も発足から16年を経過しました。開校時の古野校長の緑豊かな教育環境への強い思いは、時として止まってしまうようになってきたのが本当のところで。今流行の持続可能な開発目標・SDGsの17の目標の中に気候変動に関してや、陸の豊かさ、海の豊かさ、住み続けられるまちづくりなど環境汚染、温暖化なども関連して設定されています。特に環境問題に対応するには判断がつくまでの時間が長いだけに即効薬はなく気が付いた時には既に間に合わないことです。当

委員会も大事な事業をやっているのですがすぐ結果は出ません。それでも出来ることをささやかでも続けていきます。

さて、現委員は18名ですが決してお若い委員は居ず山林を見回しするの難儀するようになりました。事業継続のための将来のことを心配しています。大まかな方向性が出来て基礎もありますのでこれ以上新規の事業を興さず、一年の仕事量も減らしながら現事業に対応していくつもりですがいづれ限界もきます。

そんな訳で新しい若い力を求めています。是非一緒に汗を流しましょう。

緑の学び舎運営委員会

《令和5年度・事業報告 総会時まで報告済み》

- ◎2月7日 校庭の通路上の枝の雪が危険なので枝払いを行う。
- ◎4月8日 第1回緑の学び舎運営委員会開催
於・プラザ富士屋
- ◎4月20日 山道の残雪調査。以後4回
- ◎5月1日 樹元のネットを緩める。校庭の一部樹木のみ

《令和5年度・事業報告》

- ◎カラスのねぐら化排除対策出役 1月～12月随時
- ◎5月13日 春作業
- ◎6月15日 不法投棄処理
- ◎9月21日 掻き起し作業打ち合わせ
- ◎10月4・5日 両日で掻き起し作業終了
- ◎10月8日 秋作業
- ◎10月8日 卒業記念植樹第14回「ドロノキ」快晴の中で開催
- ◎10月9日 作業後の確認
- ◎10月12日 秋作業の追加作業
- ◎11月8日 殺鼠剤追加散布
- ◎11月19日 Q Rコード付標識のテスト設置
- ◎12月10日 Q Rコード付標識の追加テスト設置

《令和6年度・事業計画》

- ◎第1回運営委員会
- ◎春季作業及び管理
校庭及び同窓会林 5月12日（残雪状況で変更あり）
- ◎夏季管理 校庭及び同窓会林
- ◎秋季作業及び管理 校庭及び同窓会林
- ◎第15回卒業記念植樹「ミズナラ」
- ◎延期になっている記録史の発刊 前回から11年分
- ◎散策路の下準備
- ◎掻き起し地へのカラマツ新品種「グリーンラーチ」植栽策検討

《春作業報告》

2023/05/13

参加者：堀川、竹林、寺前、石川(幸)、
山田、南、村中、溝口

これ以上ない！ そう断言できる真っ青な空に澄んだ空気が。元気の出る一日の始まりだ。こんな好天を与えてくれた見えない幸運に感謝。

車一杯に必要品を積み込んで出発。山道はほとんど心配なし。修練道場分岐から湧雲の泉への山道は前日に中本土建で階段の手摺の設置に来てくれていたので問題なく通過できた。階段の手摺の確認。湧水量の確認。コーヒー用の水をゲットして道すがらに咲く沢筋のエゾノリュウキンカは咲き始めなので新鮮で澆漑としてしかも美しい。あたりの木々は新葉が未だ出ていないから遠くまで透けて見える山間を横目に分岐に戻る。

山道脇の頭上の桜が咲きこぼれていた。ちょうど見頃だ。カーブを数度曲がって現場到着。作業を開始する。まだ草が伸びていない広場は一層広く感じる。これが夏には草で覆われると狭くなってしまう。

保護用のネットを再設置する班と土管を埋める班に分かれる。木々の成長によって太くなりネットがパンパンに張り

切っていないかの確認をしてもらいながらネットの緊張を緩めてもらう。確認と再設置の繰り返しになる。

土管設置班は50cmの土管4本を平に並べて土管脇を土砂で固めた。埋め立てる土は道路わきの雨切り誘導溝を設けた時の土砂を転用した。こちらを整備することで道路の雨水もスムーズに流すことができるようになった。一挙両得とはこのことだ。下地ができたので下段から階段の石も組みなおして積み直しをしたので昇り降りも非常に安定さを増した。無事完成。

ネット点検作業の間に来年は開催できるかもしれないお花見の予習のためのお肉と飲み物を取りに行く。脚立代わりの野菜コンテナが丁度8個あり、それを椅子代わりにして中央にコンロと鍋を設置した。本当に風もなく暑いくらいで絶好の花見日和となった。



花見の予習

肉の他にホルモンを準備してもらったが美味しいホルモンも呑み込める大きさにカットしなさいと呑み込めない年齢の方ばかり。次回はカットホルモンを作ってもらおう。

残念なことは高度差で桜の花には少し早かった。ほころび始めが1本。他はほとんど開花前の状態。自生の桜2本もまだ開花せず。それにしても予想の開花日より遅れた。平地が開花した頃の気温とその後の低温が進行を遅らせていたようだ。あと4、5日後が良いようだ。もし、来年同窓会のお花見を開催するとしたら、花見の日程を決めるのは難しい。

加えて、参加者への連絡方法も難しい。今回は前哨戦ということで委員だけで開催したのでできたが案内は難しい。前日の役員会でご案内をさせていただいたが前日ということで参加者はゼロだった。委員間では「一回はやったほうがいいね」「準備に協力します」ということなので開催の方向で進めようと思う。後はバスとトイレの問題を解決すればよいのかも。

食事後に下山し、校庭に移動。校庭の木々の根元のネットを確認し、きついものは緩和した。時期は終わったがシコロ桜の確認。シウリサクラのカレハガの確認などに加えて既存木との共生木の多さを見てもらう。狭い中にも自然の不思議さと豊かさを感じる校庭になっている。作業は大変だったけれど充実した中で終了。秋作業までの再開を期した。

《秋作業》

2023/10/08

参加者：響田会長、堀川、岡部、坪田、
村中、山田、南、石川(雅)、溝口

雨裂のひどかった山道も前日（7日）に復旧作業を行ってくれた。おかげで雲一つない真っ青な空の下で気持ちよく車を走らせることができた。本当に素晴らしい植樹日和となった。幾曲りかを経て現場に着くとほぼ全員が到着済だった。打ち合わせを行う。

1. 桜の樹にNO札の取り付け…桜の樹は35本だった
2. チューガードネットの確認…ゆるめる
3. 植樹手順の確認 食事場所と植樹場所が違うこと
4. 新規に石段をつけること 掻き起しの地から岩と土を運ぶ
5. 食事会場の設置

掻き起しを行った植樹会場の土地は石が多くて足元が不安定だし穴を確保するのに大変苦労した。添え木を打ちこ

むのも大変だった。今回、新しく80mmの打ち込みハンマーを作成したので大いに助かった。カケヤを使っていたのがウソのようだ。掻き起しのため誘導路の足場が悪いので石をよけて踏み固めて歩道を作った。これでこの準備作業はいったん終了。掻き起しの土地から石や土を運んで作った石段は結構時間がかかった。結局植樹の後の作業になった。

卒業記念植樹を終了した後、残りの作業を終わらせて校庭の作業は後日にして本日の山の作業はこれにて終了し現地解散としました。



石段設置前



石段設置作業

《掻き起し下見、打ち合わせ 作業》

参加者：岡部・溝口・組合 久村参事

09/21 久村氏の予定に合わせて8:00に現地集合。掻き起しの現場で作業範囲の打ち合わせを行う。上段は成木を除いて既存の樹木も含めて笹の掻き起しを行う。下段は同窓会用地迄掻き起してクリーンラチを植えることを前提にした。上段は記念植樹の用地として確保する。

10/03 作業車を乗せた車がスカイラインから入られないので別ルートから入って途中に駐機して自走で現場まで入り、掻き起し予定地の上部の下側を終了した。

10/04 植樹した樹木の残す部分と作業を行う部分の打ち合わせ。8:00現場で久村参事とオペレーターと打ち合わせを行った。植樹した分は作業に支障があれば



掻き起し作業

目をつむるので残せるものは残してほしい旨をお願いをする。掻き起し作業というのはもう少し平らになるものかと思っていたが想像以上に凸凹で今後の作業に難儀しそうな予感がする。

10/05 同窓会林の境界まで作業は終了していた。作業車も撤退していた。

10/09 下段の掻き起し現場に入る。石の埋設状況は意外と少なく土が多い。若干斜面が急なのでカラマツを植えたほうがよさそう。西側の林のそばにシコロ桜を植えたくなった。

《校庭の樹木にラベル設置》

令和5年度の3月まで勤務していた間校長がふと漏らした「校庭の樹木に説明のラベルがあったら生徒にも来客の方もうれしいのですが…。これだけの樹があっても名前がわからない」との一言が気になっていて「確かにそうだよなあ」との思いが日増しに強まっていました。この一言が気にはなっていたのですが木の名前だけでなく特徴や由来がわかればもっと喜んでもらえると思われたいと欲張ってみたが情報量が多すぎてラベル板に書ききれない。

そこで今の時代の解決の方法としてQRコードにスマホをかざしてもらえばホームページに飛ぶようにしてみました。今年は実験的に簡易ラベルを5か所設置してみました。現場で春夏秋冬にさらしてどのような変化を経ていくのか楽しみです。

QRコードスキャナーでQRコードを読み取ってみてください。説明が画面に表示されます。



樹木ラベル設置



《第1回緑の学び舎運営委員会 報告》

2023/04/08

参加者：坪田・堀川・岡部・三上・末松・山田・南・妻神・石川(雅)・村中・溝口

昨年9月頃からの行動制限の緩和以来、漸く2023年3月13日からマスク着用が個人判断になったのに合わせてコロナに翻弄された時代から解放。3年ぶりの委員会開催ができるようになった。

坪田委員長からの挨拶の後、轡田同窓会長が所用で欠席のため、南委員に委嘱書が同窓会三上幹事長から手渡される。昨年1月に参加されて以来、春秋と作業に協力をしていただいていたが委員の皆さんに紹介する機会がなくて今委員会が初めてのお披露目となる。強力な援軍を得て心強い限りです。

今年度の事業内容の説明。

春と秋の山と校庭の作業が主になること。卒業記念植樹の今年度の「ドロノキ」の懸案事項を説明。協力を仰ぐ。委員各位の年齢も上がってきているので作業が軽作業になるような方向で今後は取り奨めていく旨を説明。また、昨年秋に纏めた作業内容のマニュアルを委員各位が作業情報を共有できるように配布。

昨年設置した石の階段下の側溝に土管(直径30cm、長さ90cm×2個)を埋めるので調達をお願いをした。

校庭の木々に樹種の説明のサインボードをつけたい旨の提案。QRコード付のサインボードにする予定。今年度は特に桜の花は早そうですが一度は山で観桜会を開催したいと企画中でアイデアを募る。開花時期が目の前に迫っていることから早急に企画を考えたい。心配なのはトイレと移動手段。

委員会の役員の改選を行う。坪田委員長が会社の都合で委員長の辞退を申し出られたので委員会に諮り、堀川副委員長に委員長をお願いし、竹林委員に副委員長をお願いすることで了解をいただきました。よろしく願いいたします。ご挨拶もいただきました。

懇親会に入って3年ぶりの情報交換を和気藹々の中で開催。あっという間に時間が経過いたしました。



運営委員会

令和5年度 高野連・高体連・高文連大会の成績結果

紙面の都合上、一部を掲載しております。

【陸上部】

《全道大会》

女子 一戸 夕菜	100m	予選:13"77 (-1.5)			
	走幅跳	予選:4m86 (+1.0)	自己ベスト		
廣瀬 未佑	走高跳	予選:NM (記録なし)			
多田 悠理	砲丸投	予選:11m21、決勝:10m63<第6位>		全国大会進出	
	円盤投	予選:32m06、決勝:35m34<第2位>		全国大会進出	

《高体連支部予選》

男子 幸崎 太一	100m	予選 11"68 (-1.0)	決勝 11"66 (-0.1)		
	200m	予選 23"97 (-0.3)	決勝 23"80 (-1.2)		
	400m	予選 53"55 PB	決勝 53"94<第4位>		
富田 龍	100m	予選 12"43 (-0.1) PB			
	200m	予選 25"65 (0.0)			
	400m	予選 58"44			
齋藤 陸穂	800m	予選 2'29"03 / 1500m 予選 5'13"01 PB			
三好 隆太	800m	予選 2'25"68 / 1500m 予選 4'58"68 PB			
富田・三好・齋藤・幸崎	4×100mR	決勝 48"71			
富田・三好・幸崎・齋藤	4×400mR	決勝 3'55"72			
女子 一戸 夕菜	100m	予選 13"37 (+0.2)			
	決勝	13"39 (-0.6) <第4位>		全道大会進出	
	走幅跳	予選 28"92 (+0.1) PB			
宮崎 栞	決勝	4m42 (-0.2) <第4位>		全道大会進出	
	走高跳	決勝 4m18 (+0.7)			
	三段跳	決勝 8m92 (-1.0)			
多田 悠理	砲丸投	決勝 11m38 大会新記録・空知高校新記録<第1位>			
				全道大会進出	
	円盤投	決勝 34m60<第1位>		全道大会進出	
廣瀬 未佑	100m	予選 14"96 (-0.6) PB			
	200m	予選 30"95 (+0.2) PB			
	走高跳	決勝 1m30 <第3位>		全道大会進出	
村上 莉桜	100m	予選 14"28 (-1.6)			
	200m	予選 29"99 (+0.2)	決勝 30"65 (+0.2)		
番場ななみ	800m	決勝 2'55"38<第5位>/砲丸投 5m50			
生川 由依	400m	決勝 1'11"93/走幅跳決勝3m70(+0.1)/砲丸投 5m29			
一戸・村上・宮崎・廣瀬	4×100mR	決勝 54"25 TB <第4位>		全道大会進出	
村上・宮崎・廣瀬・一戸	4×400mR	決勝 5'13"71<第5位>			

*PBは自己ベスト更新、TBはチームベスト更新を表す

【男子バレーボール】

高体連空知支部バレーボール競技大会

予選リーグ戦	深川西 0-2 滝川西
(予選敗退)	深川西 0-2 岩見沢緑陵

【女子バレーボール】

高体連空知支部バレーボール競技大会 5/17~19 滝川市スポーツセンター

予選グループ戦	深川西 2-0 岩見沢農業
決勝トーナメント	深川西 2-0 滝川
決勝リーグ戦	深川西 0-2 クラーク国際
(第3位)	深川西 0-2 岩見沢緑陵
	深川西 0-2 岩見沢東

【バドミントン部】

2023年12月2~3日 第52回 全国高等学校選抜バドミントン選手権大会 北海道予選会北空知地区予選会【深川市】

男子団体	優勝	中川 煌土・佐藤 直樹	全道大会進出
男子複(1部)	優勝	津田 聖瑩・今野 蕾斗	全道大会進出
	準優勝	野原 誠也・古屋 柊翔	全道大会進出
男子単(1部)	第3位	佐藤 直樹	全道大会進出
	準優勝	今野 蕾斗	全道大会進出
	第3位	中川 煌土	全道大会進出
	第4位	野原 誠也	
	8強	古屋 柊翔	
	3回戦	津田 聖瑩	
男子単(2部)	2回戦	吉田 竜哉	
女子団体	オープン参加(3名のため)【5名で出場可】		
女子複(1部)	1回戦	山崎 歩音・和田 ゆうか	
女子単(1部)	1回戦	山崎 歩音	
	1回戦	和田 ゆうか	

2023年10月21日 令和5年度 北空知地区バドミントン高校秋季大会【芦別市】

男子複	優勝	中川 煌土・佐藤 直樹	(選抜予選 第1シード)
	第3位	野原 誠也・古屋 柊翔	(選抜予選 第3シード)
男子単	1回戦	津田 聖瑩・今野 蕾斗	
	優勝	佐藤 直樹	(選抜予選 第1シード)
	準優勝	今野 蕾斗	(選抜予選 第2シード)
	第3位	野原 誠也	(選抜予選 第3シード)
	8強	中川 煌土	
	2回戦	津田 聖瑩	
女子複	1回戦	古屋 柊翔	
	第4位	山崎 歩音・和田 ゆうか	(選抜予選 第4シード)
女子単	8強	山崎 歩音	
	1回戦	和田 ゆうか	

2023年7月22日 全日本ジュニア出場選手選考会北空知地区予選会【滝川市】

男子複	優勝	中川 煌土・佐藤 直樹	全道大会進出
男子単	1回戦	佐藤 直樹	全道大会進出 ※1
		中川 煌土	

※1 全道中学の結果により出場枠追加でエントリー

《全道大会》

2023年7月26~28日 第76回北海道バドミントン選手権大会【釧路市】

高校男子複	1回戦	中川 煌土・佐藤 直樹	1-2 旭川実業
高校男子単	1回戦	佐藤 直樹	0-2 函大有斗
	1回戦	中川 煌土	0-2 北海
一般男子複	2回戦	北條 李桜・佐藤 虎生	
	1回戦	2-0 札幌大学	
	2回戦	0-2 札幌北斗	
一般男子単	2回戦	北條 李桜	
	1回戦	2-0 札幌大学	
	2回戦	0-2 J R北海道	

2023年8月6~7日 全日本ジュニア出場選手選考会(北海道)【帯広市】

男子複	1回戦	中川 煌土・佐藤 直樹	0-2 旭川東明中
男子単	1回戦	佐藤 直樹	0-2 池田中

《地区大会》

2023年9月16日 第70回 全空知バドミントン選手権大会(高校生の部)【滝川市】

男子複	第3位	中川 煌土・佐藤 直樹	
	8強	津田 聖瑩・今野 蕾斗	
	2回戦	野原 誠也・古屋 柊翔	
男子単	優勝	佐藤 直樹	
	第3位	今野 蕾斗	
	8強	中川 煌土・野原 誠也	
	2回戦	古屋 柊翔	
棄権	津田 聖瑩		
女子複	2回戦	山崎 歩音・和田 ゆうか	
女子単	3回戦	山崎 歩音	
	1回戦	和田 ゆうか	

2023年7月1日 選手権大会北空知地区予選会(高校の部)【滝川市】

男子複	優勝	中川 煌土・佐藤 直樹	全道大会進出
	2回戦	津田 聖瑩・今野 蕾斗	

男子単	優勝	野原 誠也・古屋 柊翔	
	準優勝	佐藤 直樹	全道大会進出
	8強	中川 煌土	全道大会進出
	2回戦	野原 誠也	
	1回戦	古屋 柊翔	
男子単(2部)	1回戦	津田 聖瑩	
女子複	4位	吉田 竜哉	
女子単	2回戦	山崎 歩音・和田 ゆうか	
	1回戦	和田 ゆうか	

《全道大会》

6月13~16日 第75回北海道高等学校バドミントン選手権大会【小樽市】

男子団体	1回戦	2-3 帯広三条	
男子複	2回戦	北條 李桜・佐藤 虎生	0-2 帯広大谷
男子単	3回戦	北條 李桜	(北海道ベスト8)
	2回戦	2-0 網走南が丘	
	3回戦	0-2 帯広大谷	
	2回戦	佐藤 虎生	
	1回戦	2-0 網走桂陽	
	2回戦	0-2 帯広大谷	
	1回戦	佐藤 直樹	0-2 稚内大谷

《地区大会》

5月24~26日 第16回空知高等学校バドミントン選手権大会【岩見沢市】

男子団体	優勝	北條 李桜・佐藤 虎生	全道大会進出
女子団体	不出場	中川 煌土・津田 聖瑩	
男子複	優勝	佐藤 直樹	全道大会進出
	8強	北條 李桜	全道大会進出
	2回戦	佐藤 直樹	全道大会進出
男子単	3位	佐藤 直樹	全道大会進出
	4位	佐藤 虎生	全道大会進出
女子複	3回戦	山崎 歩音・和田 ゆうか	
女子単	3回戦	山崎 歩音	
	1回戦	和田 ゆうか	

【テニス部】

第16回空知高等学校秋季テニス大会 9月2日~3日 深川市民コート

深西テニス部員	男子1名		
【男子個人戦 シングルス・中嶋 類】			
1回戦	○ (深西)	6-1 (岩東)	
2回戦	○ (深西)	6-1 (緑陵)	
準決勝	○ (深西)	6-1 (滝西)	
決勝	○ (深西)	7-6 (岩東)	(タイブレーク) 優勝

第19回 南北空知高校テニス選手権大会

7月31日~8月2日 岩見沢市東山公園庭球場

2回戦	○ <深西>	6-2 <岩東>
3回戦	○ <深西>	6-2 <滝西>
準決勝	○ <深西>	6-4 <滝西>
決勝戦	× <深西>	3-6 <岩東>

高体連空知支部予選

男子シングルス	中嶋 類	優勝	全道大会進出
女子シングルス	菊池優梨花	準優勝	全道大会進出
女子ダブルス	菊池優梨花・羽野結莉組	準優勝	全道大会進出

【卓球部】

男子 学校対抗戦	予選リーグ敗退(1勝2敗)	
ダブルス	代表決定戦進出(清野・右代組)	
	2回戦進出(鷹島・谷藤組)(篠原・加津組)	
シングルス	ベスト16(谷藤)3回戦進出(清野)	
	2回戦進出(加津・児見山、鷹島、篠原)	
女子 ダブルス	1回戦(右代)	
シングルス	代表決定戦進出(傳里・中山組)	
	2回戦進出(傳里)	
	1回戦(中山)	

【バスケット部】

男子	1回戦敗退	対 岩見沢農業	47-65
----	-------	---------	-------

【野球部】

滝川工業高校との連合チーム。		
1回戦	対 クラーク高校	0-7 (7回コールド)

【放送局】

NHK杯総合賞	第2位(優秀賞)	
アナウンス部門	優秀賞:上口紗穂	全道大会進出
	奨励賞:稲元健介	
ラジオドキュメント部門	最優秀賞	全道大会進出
	「春は恋の季節〜浮かれる男子の落とし穴」	
テレビドキュメント部門	優秀賞	全道大会進出
	「重いカバンと一緒にいると」	
創作テレビドラマ部門	優秀賞	全道大会進出
	「げにおそろしげは・・・」	
研究発表部門	最優秀賞	全道大会進出
	「ビデオカメラ危機」	

高文連空知支部写真部春季審査会

17点出品し次の4点が入選/秋の全道大会に出品。		
入選【全道大会出品】	入選【全道大会出品】	
／3年 中村琴美「光」	／3年 水野芽依「雪と木の共演」	



入選【全道大会出品】
／1年 GHIMIRE ANJU
「雨の前触れ」



入選【全道大会出品】
／1年 齋藤ここ菜
「何が見えるかな?」

どろやなぎ

(編集後記)

25年間に感謝 今号の「どろやなぎ」は多めにスペースをいただきました。

▼同窓会報の手刷りで10年はB4判表裏。前大西同窓会長の病院の事務室で印刷させていただいた。他校の会報を見てみるとどれもちゃんとした印刷物。それには予算がなくてどうしたものかと思案をしたところですが、なんとか同窓生の協力をもらえたら発行できるのではないかと踏み切りました。想像以上に反応は良く、多くの同窓生の方にご協力をいただきました。嬉しかったです。とは言え、やはり足が出ました。多額のご厚志をいただきましたが送料の負担が大きくなるとの持ち出しが多かったため5号で全員に送付するのを取りやめとし、4年に一度は必ず会報を目にすることができるように変更しました。これで収支はぎりぎり

に持つていくことができました。初版から25年目を迎えました。好き勝手に許していただきながら同窓会に関わって春夏秋冬を幾度となく繰り返してきました。多くの方のご支援をいただきながらそのご厚意に反しないような情報提供と心を砕きながらあれよあれよという間に遂に老いも終盤を迎えることになっていました。

▼いつまでも元気ならいつまでもお手伝いができるのですが世の中はそんなに甘くはなく、ここら辺りが身の引きどころかなというのが現実です。ほとんどの人がそうであるように思考力の減退は顕著、判るうちはいいのですが判らなくなる前に「レカ価年間298万円、保険適用「レカネマブ」での治療なども頭に思い浮

かぶが、それでも追いつかない進行度合い。ましてツルハで買えるような薬ならいざ知らず、目玉が飛び出そうな薬にすぎるとも詮無いこと。継続発行を断念したことにご理解をいただきたい。政治資金パーティでも設定できれば裏金でも調達できたんでしようが・・・ここはひとまずお正月の悲惨で無残な能登半島地震への復興のささやかなお役に立つことの方が大切かもしれせん。

▼同窓会とのかかわりを少々書き記しますと平成3年頃に旧中2・3回生の先輩からなんとなく取り込まれて同窓会に関わり始めて今日に至ってしまいました。開校当時の想いが結構強かった世代の先輩に誘導されて関わりを持つことになりました。平成4年に校舎改築に合わせて校舎内にあった宇佐美常次郎氏の胸像が校庭に移設され、その除幕式に出席したことを覚えてます。同時に西側に深川市開村100年を記念して5本のユリノキを植えたこの話は今は亡き津田元会長から聞かされていました。殊の外、津田さんはユリノキが好きでした。今は植え替えられたユリノキが満開の花を咲かせていますがお見せできなかったことが残念でなりません。緑の学び舎運営委員会の立ち上げも起因は津田さんでしょう。校庭の緑の環境にはぞっこんでした。今でも見惚れていることを念じて・・・

▼宇宙の誕生から137億年、太陽の寿命が100億年で地球の年齢が46億年と言われていますから地球だつてあと54億年の命。話すのものはかれるし比較もできない壮大な時間の中の人生100年などは取るに足らない時間ですが、奇跡のような出会いの中に学窓を得て85年。苦難の大先輩から希望と不安の未来へ

と繋がっていきます。地球がある限り続いて欲しいものですが争いの絶えない人類ではいつまでもつのでしょうか。

▼寿命と言えば樹木は人間より遥かに長生きで縄文杉で2000年超とか言われ、芦別市黄金地区の「黄金水松」は1700年。納内神社のイチイが860年。多度志の高橋峠のイチイは700年。生き文のヤチダモが4200年。音江小学校の榎の木は350年。深川神社のカツラが200年。まだまだあるがどれもこれも素晴らしい。

卒業記念植樹で植えた木の中ではカツラが一番長寿になりそうですがそれでも巨樹と言われるまでには200年以上かかります。記念植樹事業も15年目を迎えますがどんな森になっているかという夢を抱いて事業を継続しています。見届けるには頑張つて3回ほど生まれ変わらなくては見る事ができません。もうロマンそのものですね。

▼書き記したい感謝は沢山あります。まずは同窓生の皆さんです。言い尽くせません。個別にお世話になった方々にもお礼申し上げます。旧中3回生の利波清一氏は同窓会へのきつかけを作ってくれました。4回生の宮脇敬氏、氏には特段の配慮をしていただきました。同窓会がこれだけの事業を開催できているのも全く持つて氏のおかげです。旧中5回生の故・津田恭衛氏、7回生の岡部誠二氏には緑の学び舎への道案内をしていただきました。17回生の前同窓会長・大西道祥氏にはフリーハンドで事業を後押ししていただきました。かわつた皆様にはご無理をおかけしたことが多かったでしょうがお許しください。大変といえば大変なことばかりでしたが充実

した活動が続けることができました。

▼北空知新聞社からは紙面を埋めるために毎回提供していただいた記事を含め今回も参考にさせていただきました。長年の協力に感謝いたします。今号では北海道新聞社の出井氏にも写真の提供をしていただきました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

情報発信委員会

(溝口信義・記) (18期)

▼今後どういう形で情報提供ができるか検討してまいります。皆さんからも良いお知恵をお貸しいただければありがたいと思います。

【お願い】

※資料収集のお願い。毎度のことですが古い資料があればと探していますが、生きているうちには捨てられない資料も残された家族にとつてはゴミです。こうして貴重な資料も散逸して確保が困難になります。開校百年が手の届くところまで来たところでお願いをしておかなければ間に合いません。ご提供いただけるものがありましたら是非お願いいたします。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。(お届け、連絡は学校まで)

【書籍等のご案内】

※創立五周年・復刻版

昭和23年7月20日発行

(A5判134ページ)

※十周年記念誌・復刻版

昭和18年4月25日発行

(A5判41ページ)

※創立20周年記念誌・復刻版

昭和33年9月6日発行

(B5判102ページ)

※緑の学び舎運営委員会・五周年記録「緑魂は時空を超えて」
残部五部ほどになりました。



校庭錦秋 2023/10/30

いずれも同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込いただければ送料込みの一、〇〇〇円にて頒布いたします。入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込みください。
口座番号は
0277012145435
加入者名・
北海道深川西高等学校同窓会